

令和 5 年度 三 好 市 立 学

作成日

1 総括評価

評価分野	自己評価 (平均値)	自己評価結果の概要
① 学校経営及び学校運営に関する評価	2.8	○コロナ禍が収束し、以前の行事や活動に戻っていった結果、仕事に多忙感を感じることがあった。しかし、コロナ禍で培った業務改善や精選は活かすことができた。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	2.3	○教育目標達成に向け、全教職員協働のもと努力してきた。常に全教職員の共通理解と相談体制を重視した協働体制を構築し、家庭や地域に信頼される学校づくりの推進に務めた。
③ 主要な教育活動に関する評価	3.6	○児童に対する健康・安全教育や食育を実施するとともに、懇談や学級通信等を通じて、各家庭への啓発も行うことができた。
④ 保護者や地域との連携等に関する評価	3.4	○コロナ禍が収束し、地域行事への参加や地域の教育力を活かした活動を展開することができた。
⑤ その他、上記以外に関する評価(タブレット等, ICT機器の活用状況)	3.0	○GIGAスクール構想実現のため、研修を実施し、学習活動において効果的にタブレットや等のICT機器を活用した。

(1) 4段階評価とする。

評価基準 4=達成度が 90~100 %
3=達成度が 70~ 90 %
2=達成度が 50~ 70 %
1=達成度が 50% 未満

(2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の(1)~(5)の評価をそれぞれ

(3) 分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ

(4) 総括評価の「評価分野-その他」の項目の()には、分野別評価の「(5) その他に関

(5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会(学

(6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議され

校 評 価 報 告 書

令和6年3月7日

学校名(三好市立王地小学校)

校長名(喜多佳英)

学校関係者評価の概要	次年度の改善策
<p>○地域に根ざした学校運営が実践できている。</p> <p>○コロナ禍収束後、コロナ禍で中止・縮小していた教育活動、学校行事等が実施できた。また、運動会の午前中開催などコロナ禍で培った改善も見られた。</p> <p>○「学びのサポート」、「放課後教室」等の活用による手厚い教育が、学力向上へと繋がっている。</p> <p>○防災学習を地域と学校が連携して行った。交流をとおして、子ども達の様子もよく分かって、非常に良かった。今後も継続していきたい。</p> <p>○定期的に避難訓練を実施したり、防災グッズが備え付けられていたり災害に対する備えができています。放水訓練は引き続き消防団の協力のもと実施したい。</p>	<p>○持続可能で明確な学校経営方針を提示することで、教職員のベクトルをそろえる。また、学校・保護者・地域の連携が図れ、コミュニティとしての更なる発展が期待できると考える。</p> <p>○各種教育活動や行事終了後の反省や見直しを行い、全教職員の共通理解のもと、教育目標達成のための改善を図る。</p> <p>○複式学級を見据え、しっかり話を聞いた、質問したり、自主的に学習したりする習慣を児童に付けるとともに、学習環境や学習体制の構築を図る。</p> <p>○地域行事や学校行事の精選を行うとともに、学校運営協議会を活かし、地域の教育力を活用した教育課程を編制し、学習活動の充実や働き方改革等を行う。</p> <p>○複式学級を見据え、従来行われてきた教育活動に、タブレット等のICT機器を効果的に活用する学習環境や学習体制の構築を図る。</p>

平均(小数第1位)したものとします。

評価する。

する評価」の中から、特に重要視する事がらを記入する。

交運営協議会も可)において評価された結果をまとめたものを記入する。

た改善策をまとめたものを記入する。